



やなぎっこ

北九州市立大里柳小学校 校長 松中 保明

【学校教育目標】：これからの社会を生き抜く3つの視点…「自律」「協働」「創造」

「自ら学び続け、人間性豊かに、たくましく生きる子どもの育成」

～コロナ禍でもSDGsの視点を基に大里柳小の強みを生かしながら、
子どもの学びと心を「つなぐ」「かさねる」「つらぬく」学校教育の創造～

【目指す子どもの姿】：6つの好き「友達・先生・柳校・柳のまち・学ぶこと・自分」

～夢を語り合い、仲間とともに価値あることを創造し、自らを問い直しながら粘り強くやり抜く大里柳っ子～

○【やさしく】：夢を語り合い、お互いを尊重し合う子ども→自律・協働・創造の「種」

○【かしこく】：仲間とともに価値あることを創造する子ども→協働・創造

○【たくましく】：自らを問い直しながら粘り強くやり抜く子ども→自律

～安全と安心を自分たちの手で～

日頃より、本校教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。先日1月8日(金)の大雪による臨時休校の際、保護者の皆様におかれましては、お子様の預かり先を探するなどご苦労された方も多いことと思います。ご協力をありがとうございました。今後も、様々な要素を考え、全市一斉の措置がとられなくても、本校独自に臨時休校の措置をとる場合があります。また、福岡県に発出された緊急事態宣言下、先日お知らせいたしました職員の在宅勤務も含め、一層の感染蔓延防止対策を講じながら、教育活動を推進しております。ご理解とご協力をありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。

さて、現在本校では、次年度を見据えながら一人一人の学校生活のレベルアップを目的に、「やなぎっこパワーアップ作戦」と題した取組を後期から①「黙々清掃」②「整理整頓」③「自分からあいさつ」について1ヶ月単位、1週間毎のスマールステップでの取り組みに励んでいます。また、保健委員会児童が、感染症対策について学校全体がもっと意識を高めるために、フィジカルディスタンスの2mを実際に自分の足で何歩かを確認したり、北九州手洗い歌を実演したビデオ放映を行ったりと工夫した活動がなされています。その活動に参加した児童は、「これでいつでも2m(フィジカル・ディスタンス)が分かるから安心だね」と嬉しそうでした。上学年は学校のために創造的な活動に取り組み、下学年が進んで協力するやなぎっこです。

【避難訓練(地震→津波)】

1月19日(火)に全校で、避難訓練を実施しました。地震が起き、その後に津波発生を想定した訓練です。最初にDVDで学習し、そのあと実際に校内放送で災害発生場面を再現しました。揺れが収まるまで、体を机の下で守ります。その後、運動場に避難、更に状況によっては、大里公園に避難することを確認しました。現在、新しい取組として、地域別の縦割りグループ(6年生をリーダーとする異学年グループ)を名簿上で作成し、災害の状況に応じて職員引率の元、下校する体制も整えています。

災害時に、自分で正しく判断できる力が大切です。正しい知識の元、「自分の命は自分で守るそれが周りの命を守る」ことに繋がります。ご家庭でも災害時連絡カードを活用しながら、お子様と避難場所やその経路の確認を平時からお願いします。

【食への感謝の気持ちをもって】

フードロスが世界的な課題になっています。日本では年々減少傾向にはありますが年間612万トン(農林水産省及び環境省「平成29年度推計」)の食品ロスがあり、これは、世界の食糧援助量(平成30年度)の1.6倍に相当(消費者庁)するそうです。日本では令和元年10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、SDGsでも目標12「つかう責任 つくる責任」として努力目標が示されています。

さて、今年度の学校給食週間が始まっています。我が国における学校給食は、明治22年に初めて実施されて以来、各地に広がっていきましたが、戦争のために中止されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に、学校給食の必要性が叫ばれるようになりました。昭和21年6月にLARA(Licensed Agencies for Relief in Asia:アジア救済公認団体)から、給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開されました。同年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を学校給食感謝の日と定めました。昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。(文部科学省HPより)大里柳小学校では、25日から29日を給食週間としています。学校給食を生きた教材とした学校での食育の視点は次の6点です。

①食事の重要性 ②心身の健康 ③食品を選択する能力 ④感謝の心 ⑤社会性 ⑥食文化 それぞれの学年の発達段階に応じて指導してまいります。

また、学校給食は、地産地消を進め、なるべく北九州市内や県内産の農産物を使用しています。給食週間には、北九州市の郷土料理「いわしのぬかみそ炊き」や福岡県の郷土料理「だぶ」を取り入れており、北九州市内産の「カツオ菜」を使用しています。

現在、給食委員会児童提案による給食週間の取組として、「給食に感謝の気持ち伝えよう」と学級で寄せ書きをつくり、給食室前廊下に掲示しています。また、給食時間には、給食委員会児童が食に関する放送を行っています。更に、給食クイズブックを作成、配布したり、北九州市の給食の歴史を展示したりするなど、みんなで食育について関心を高めながら学習しています。ご家庭でも食について話題にされてみてください。

【「文化を創造する学校」の取組】

例年実施している太鼓クラブによる大里太鼓演奏体験会は、太鼓クラブによる演奏を見学する会(体育館にて)に変更して計画中です。

また、新しい取組として、歌うことや合奏することが好きな児童希望者によるウインターコンサートを計画中です。感染症の状況を見定めながら、リモートやDVD演奏による実施も含めて検討中です。

いずれも実施する場合は、感染症拡大防止対策を講じて実施します。

状況によっては、変更になる場合がございます。ご了承ください。学年行事の詳細は、学年通信等でお知らせします。

【行事予定】	
二月	三日(水) 小学校入学説明会(保護者のみ)
	四日(木) 委員会活動
	五日(金) 中学校説明会(本校にて)
	八日(月) 携帯電話会社連携した人権教室(五・六年)
	十一日(木) 建国記念の日
	十八日(木) クラブ活動
	学校保健委員会
	二十三日(火) 天皇誕生日
	二十五日(木) クラブ活動(三年生見学)
令和三年三月以降の予定	
三月	十七日(水) 卒業証書授与式
	二十三日(火) 給食終了日
	二十四日(水) 令和二年度修了式・離任式
四月	七日(水) 令和三年度始業式
	十二日(月) 入学式